

難病で早世の池田さんの著書

「生きたい!!僕の履歴書」

妻が県立40校に寄贈

難病の肺線維症で昨年5月に亡くなった高松市の池田真一さん(享年31)の妻由佳さん(32) 宇多津町がこのほど、真一さんが生前に著した闘病記「生きたい!!僕の履歴書」を県立学校(特別支援学校含む)など40校に寄贈した。写真。

真一さんは2度の白血病治療を乗り越えたが、28歳で肺線維症を発症、肺移植を待ちながら闘病を続けた。著書は、真一さんが闘病中に携帯サイトに投稿したエッセーを書籍化したもの。7月には高松市内の中学校などに寄贈してい



生きる喜び感じてほしい

る。県庁であった県立学校長会に由佳さんが出席。由佳さんは「若い世代の人に読んでもらい、命について考え、普通に生きることの喜びを感じてほしい」と話し、沢井静芳会長(高松南高校長)に本を手渡した。

書籍の寄贈は、真一さんの友人らが企画したチャリティコンサート収益金を活用した取り組みの一環。12日午後2時からは、高松市屋島西町の高松テルサでチャリティライブ「Live on Life」を開催する。